

「家がいいね」 第7号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2004.12.16

師走も暖かいままに、あつという間に半分が過ぎてしまいました。師の中に、医師や看護師も入るかどろかは分かりませんが、年末年始を考えながら走らなければいけない時期になりました。

「宵越しの金は持たない!」を粹に感じた落語の世界では、「生きるの死ぬの」の間でも、笑いに包まれたやりとりが続きます。

寿限無(じゆげむ)

これは、齋藤孝さんの「声に出して読みたい日本語」という本からの引用です。教育TVの平日朝8時からの「日本語であそぼ」でも見ることが出来ます。お話は熊五郎夫婦が和尚さんに名付け親になってもらい、「何かこう死なねえ保証つきの名前を」と欲張り全部付けたことで始まります。

寿限無寿限無、五劫(ごこう)のすりきれ、海砂利水魚の水行末、雲来末、風来末、食う寝るところに住むところ、やぶらうじのぶらうじ、パイポパイポ、パイポのシューリンガン、シューリンガンのグーリンダイ、グーリンダイのポンポコピーのポンポコナの長久命の長助

その名の意味は、寿(よわい)限りなしで死ぬことがない「寿限無」、天人が三千年に一度下界に下りるたびに衣で巖(いわ)を撫で、巖を摺り切るのに要する時間が一劫(いっごう)からくる「五劫の摺り切れ」、膨大で獲り尽くせない海の幸「海砂利、水魚」、水雲風の行く末は果てがないので「水行末、雲来末、風来末」、衣食住は欠かせず「食う寝るところに住むところ」、生命力強靱な数柑子(やぶらうじ)「やぶらうじのぶらうじ」、昔、唐土(もろこし)にあった「パイポ」という国の「シューリンガン」王と「グーリンダイ」后のあいだに生まれ超長生きした双生児姉妹の名「ポンポコピー」と「ポンポコナ」、長久と長命を合わせて「長久命」、長く助ける「長助」をすべて合わせた訳なのです。どんなに早口で言っても、出来たタンコブが引つ込むぐらい時間がかかり、皆あきれたという落ちですが、笑えますでしょうか。

夜空には

街にイルミネーションが輝きを増す時期です。寒さの中、澄んだ夜空にも星が輝きます。写真



は、ハッブル宇宙望遠鏡が捉えた星々の姿です。電飾以上に深遠な光があります。それも五劫以上の時空を超えて今の目に届く光だとすれば、素晴らしいものを見ることが出来る世界に居ることへの喜びが浮かんで来ないでしょうか。同じ光景は、昼でも存在するのですが、金子みすずの詩にあるように「見えぬけれども、あるんだよ。見えぬものでも、あるんだよ」の世界なのです。

講演会のご紹介

南勢地区緩和ケアネットワークで、在宅医療の経験をお話することになりました。

時：平成17年1月13日(木) 18時半から
所：志摩セントラルホテル ソシア 会議室

(志摩市阿児町糺方)

題：「元々、生まれるのも死ぬのも自宅だった」

Ⅱ在宅医療から見た緩和ケアの新たな展開Ⅱ

もし、よろしければご参加ください。



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805

三重県度会郡御園村高向 927

電話 0596-20-8104

ファクス 0596-20-8105

mail homecare@kr.tcp-ip.or.jp

HP <http://tcp-ip.or.jp/~takuro>